

令和6年度 網走南ヶ丘高等学校

網走市議会報告会・意見交換会開催概要と結果

市民に開かれた議会を目指して網走市議会では、2013年から市民向けの議会報告会や意見交換会を定期的に行っています。

将来のまちづくりの担い手となる若い世代の意向を政策に積極的に反映するため、網走市議会議員16名が網走南ヶ丘高等学校の2年生約150名と「選挙に行こう！」をテーマに意見を交わしました。

意見交換会の前半は「市議会ってなあに？」をテーマにパワーポイントを使って市議会の仕組みや市議会議員の役割などを説明しました。

後半は市議会議員選挙の投票率が下がっている現状を踏まえ、「選挙に行こう！」をテーマに「こんな選挙なら若い世代は投票に行くよ」というアイデアを議員と生徒が各グループで話し合い、選挙に行くための方策や政治の関心を高めるための意見を発表しました。

【開催日時】

令和6年11月11日（月）13時15分～15時05分

【開催場所】

網走南ヶ丘高等学校 体育館

【参加者】

2年生 156名（男子81名 女子75名）

【出席議員】

議員16名

平賀議長、立崎副議長

金兵議会運営委員会委員長、古田議会運営委員会副委員長

石垣議員、井戸議員、小田部議員、栗田議員、里見議員

澤谷議員、永本議員、深津議員、古都議員、松浦議員

村椿議員、山田議員

【報告会次第】

- | | | | |
|---|-----------------|--------|---------------|
| 1 | 開 会 | (総合司会) | 古田議会運営委員会副委員長 |
| 2 | 開会挨拶 | | 平賀議長 |
| 3 | 趣旨説明 | | 金兵議会運営委員会委員長 |
| 4 | 議会報告 | | 石垣議員、澤谷議員 |
| | テーマ：「市議会ってなあに？」 | | |
| 5 | 意見交換パート | | |
| | テーマ：「選挙に行こう！」 | | |
| | 趣旨説明 | | 深津議員 |
| | グループワーク | | 生徒・各議員 |
| | まとめ発表進行 | | 小田部議員 |
| 6 | 閉会挨拶 | | 立崎副議長 |

○実施時間帯：

11月11日（月） 5時間目（13：15～14：05）
休 憩（14：05～14：15）
6時間目（14：15～15：05）

○ワークショップチーム分け（議運正副委員長を除く）

- | | |
|---------|---------|
| 1（A）石垣 | 8（H）永本 |
| 2（B）井戸 | 9（I）平賀 |
| 3（C）小田部 | 10（J）深津 |
| 4（D）栗田 | 11（K）古都 |
| 5（E）里見 | 12（L）松浦 |
| 6（F）澤谷 | 13（M）村椿 |
| 7（G）立崎 | 14（N）山田 |

※1名あたりの受け持ち生徒数 約11名

【ワークショップ結果（概要）】

○テーマ【選挙に行こう！】の取組について

①投票方法、投票場所についての意見

- ・スマートフォン・パソコンなどからのオンライン投票の導入。
（すべてのグループが提案）
- ・投票会場を家・職場から近いところ、集客力のある場所（スーパーなど）に設置する。
- ・職場などで投票可能な移動投票所を導入する。
（複数のグループが提案）
- ・投票できる期間を長くする。
（複数のグループが提案）
- ・高校、大学などの授業として選挙に行く。
（複数のグループが提案）

②選挙（＝投票）の周知方法についての意見

- ・選挙や、候補者についてSNSなどで積極的に発信。
（複数のグループが提案）
- ・選挙公約をわかりやすく掲示する。（ネットの活用）
（複数のグループが提案）

③選挙に行くための取組についての意見

- ・投票は国民の権利だが、義務化するとともに罰則規定を設ける。
（多くのグループが提案）
- ・投票に行くと商品券、割引券、キャッシュレス決済ポイントなどが付与されるなどの付加価値をつける。
（多くのグループが提案）

※その他、選挙に関する少数意見（抜粋）

- ・選挙に行ける人も立候補する人も年齢制限（上限）を作る。
人数的に若者は高齢者に勝てないから、18歳以上があるなら上も上限があるべき。
- ・投票のために仕事を休める制度。
- ・会社など企業でまとまって投票に行く。
- ・票は入らない子ども専用の投票所を作る、高校生等の子どもが議員となり活動する。（小さな議会）
- ・小中学校の授業で議会の体験や実際の投票箱を使って政治を身近に感じれるようにする。

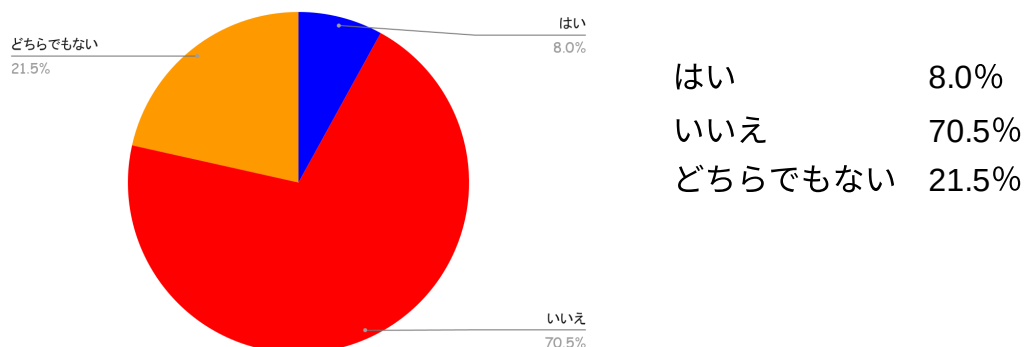
○市議会、議員活動、網走のまちづくりに関する要望（抜粋）

- ・バスの料金を一律にしてほしい。（距離に関係のない定額制）
- ・バス、鉄道の本数を増やしてほしい。
- ・公共料金が低い。
- ・壊す建物が多く、新しくできるものが少ない。
- ・若者に魅力のあるまちづくり
- ・スターバックス/ショッピングモール/イオン/映画館/スポッチャ/ラウンド1などの誘致。
- ・コンビニを増やしてほしい。
- ・高校生の意見や要望をもっと重要視してほしい。
- ・通学に係る費用を無償化してほしい。
- ・市議会議員との交流の場を増やす。どんな人か知ること、 「この人に投票したい」という意欲が増す。
- ・選挙/市議会についての授業を頻繁におこなう。



【事前アンケート結果（概要）】

問：あなたにとって市議会または市議会議員は身近な存在ですか？

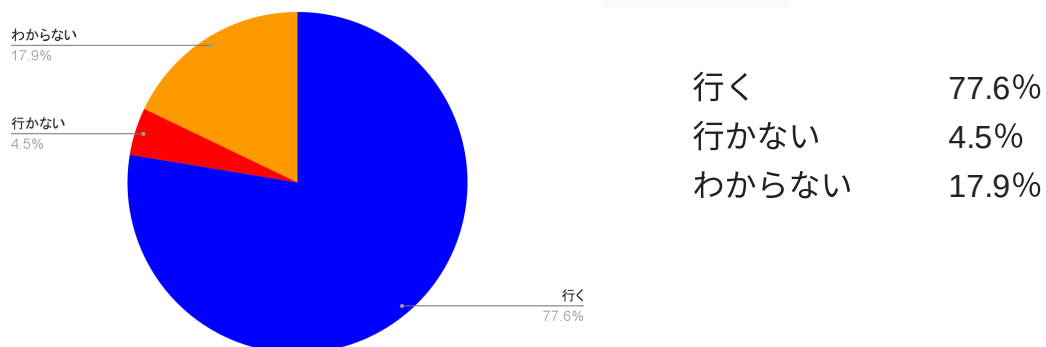


(理由)

- ・あまり詳しく活動内容などを知らないから。
- ・市議会がいつどこでやっているのかも知らないから。
- ・授業ではやっていたりするけど、日常生活で関わることはほとんどないから
- ・仕事の様子を実際に見たことや聞いたことがあまりなく、選挙という市民の前で演説するというのも相まって雲の上の存在のような気がするから。

(ほか多数)

問：将来、選挙権（候補者に投票する権利）を得たら選挙に行きますか？

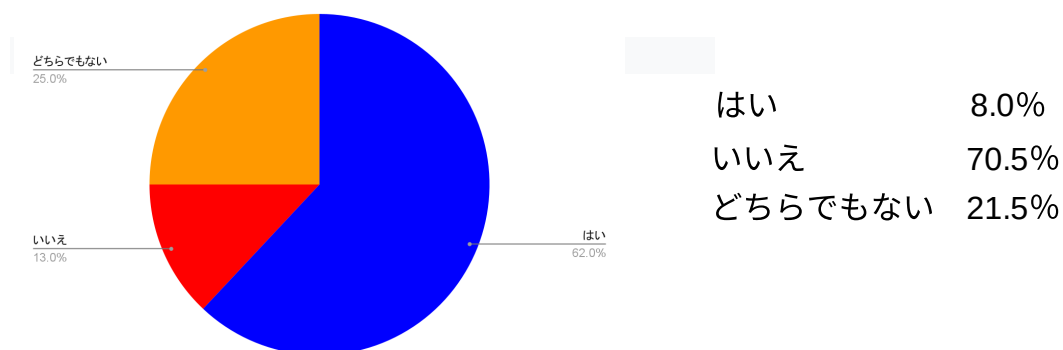


(理由)

- ・自分の思いが反映されるかもしれないから。
- ・ネットやテレビで見かけて少し興味があるから。
- ・政治に関わる責任があると思うから。
- ・高年層の投票ばかりが反映されたら変な街になるから。
- ・政治に関心を持つことは大事だと思うから。自分の一票がこれからの生活に関わってくると思うから。

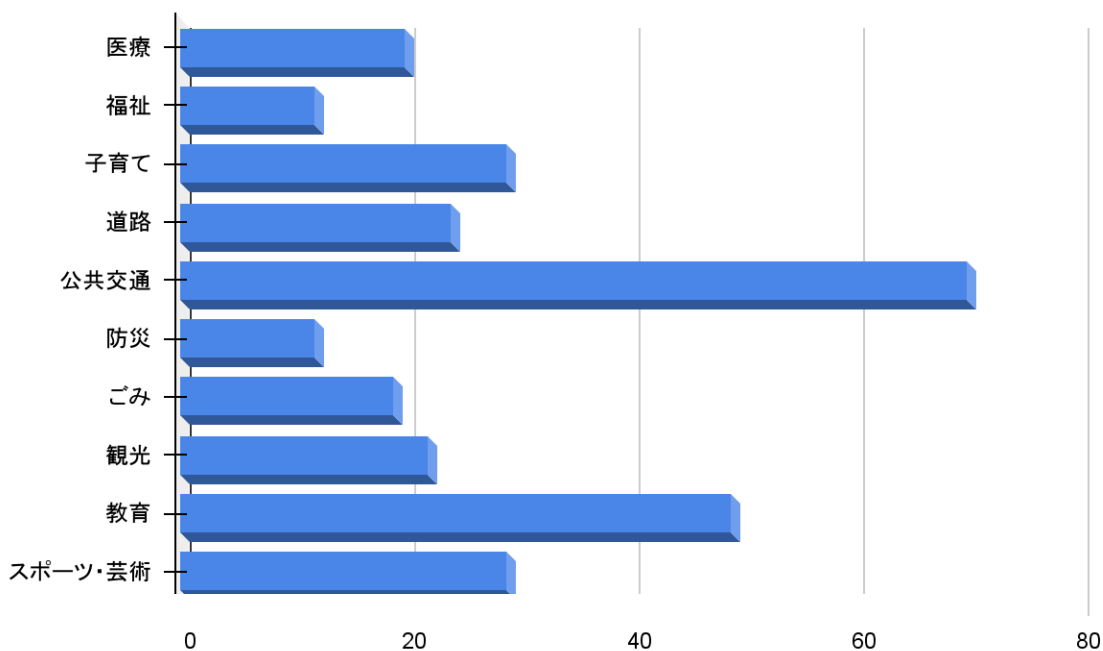
(ほか多数)

問：あなたの住んでいる街は暮らしやすいと感じますか？



問：網走の街で良くなって欲しいと感じるのは下記のどの分野ですか？

(複数回答)



(理由)

- ・ 網走市内での移動がとても不便だから。
- ・ 防災は大事だから。ごみ処理は衛生的にも大事だし、リサイクルを積極的にやるべきだから。
- ・ 若者が来る残るメリットを作った方がいい気がする。小学中学の問題が多い気がするから。
- ・ 公共交通機関が少なくて困るから、登下校のバスが減って不便だから。
- ・ 観光業を盛んにして観光客が増えてほしい。
- ・ 普通に学校に通うだけでも家庭に大きな負担になるから。
バス代がシンプルに高いし、救急医療に対応してるけどそこまで多くの症状に対応してないから。

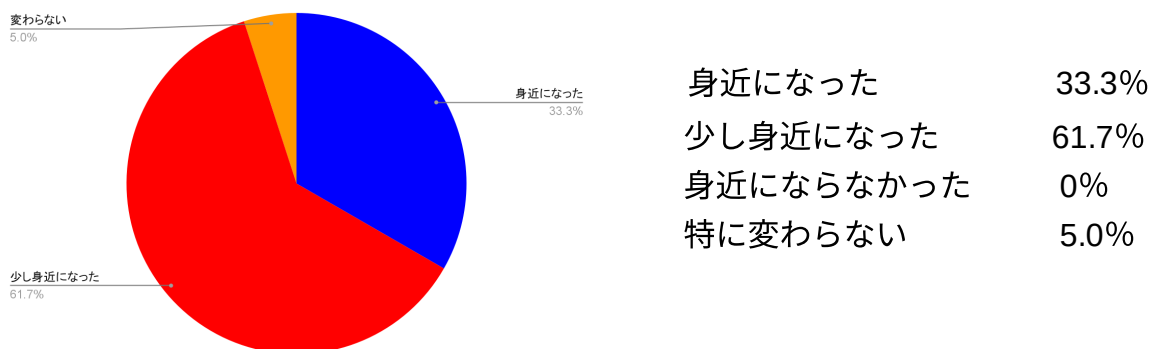
(ほか多数)

問：出前授業で市議会議員に直接聞きたいことがあれば教えてください。

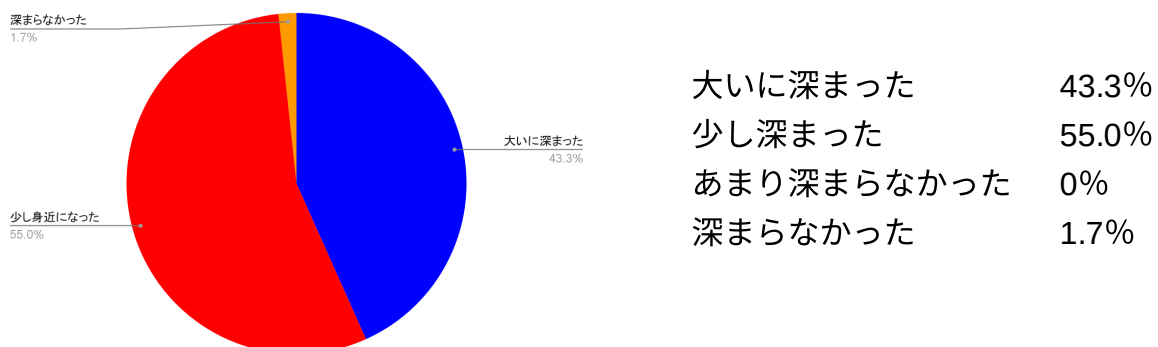
- ・市議に立候補するときにどうやって公約を決めますか。
- ・どうして市議会議員になろうと思ったんですか
- ・週に何日ぐらい仕事をしているのか。この仕事をしていて大変だったこと、やりがい。
- ・普段はどういったことをしているのか、市議会ではどんな話題がでるのか。
- ・網走市を良くしたい、市民のために尽くしたいと思い始めたのはいつですか。

【事後アンケート結果（概要）】

問：出前授業に参加して、市議会または市議会議員は身近になりましたか。

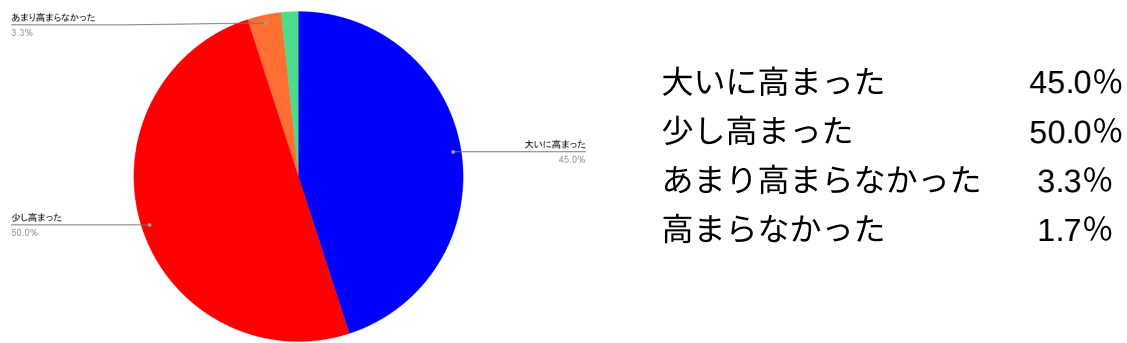


問：出前授業に参加して、市議会及び市議会議員の役割について理解が深まりましたか。



問：出前授業に参加して、「選挙の際は投票に行こう」という気持ちが高まりましたか。

たか。



(理由)

- ・数年前まで70%の人が投票へ行っていたけど昨年の市議選挙は56%の投票率と聞いて、危機感を感じたから
- ・議員の方と一緒に選挙に行く方法を考えたことで各々の考え方に触れられたから
- ・もともと自分の一票でそんなに結果は変わらないと思っていたけど、そんな一票も大事ってことがわかった
- ・議員の方とたくさん選挙の事に対し話し合い、熱い思いがちゃんと伝わったから。
- ・選挙の結果がどうやって自分の生活に影響を与えるかを理解できたから。みんなで選挙に行く人が増える方法を考えて、自分も実際に行ってみたいと思ったから。
- ・元々から選挙には行きたいし行かなきゃならないと思っていたが、投票率が下がることで、私たち国民、あるいは市民の意見が反映されず、自分たちの望むマチは作れないと改めて再認識したから

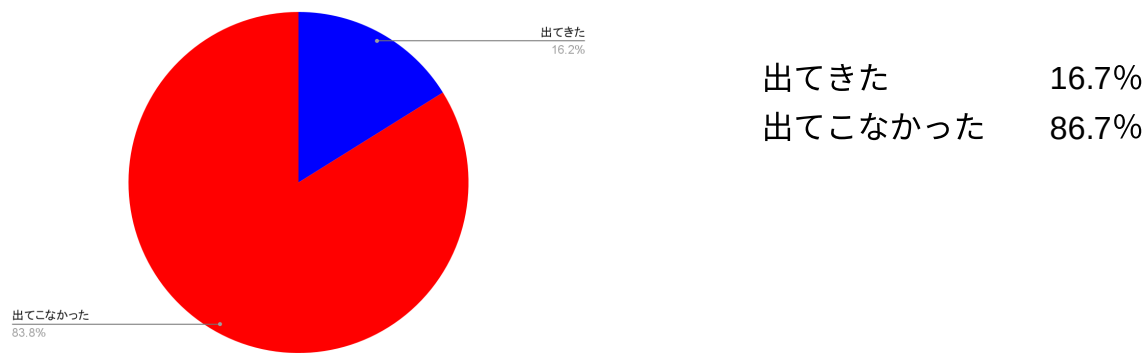
(ほか多数)

問：意見交換も踏まえて、どのようにしたら若い世代がもっと投票に行くようになると思いますか。

- ・オンライン投票の導入 (多数の意見あり)
- ・参加賞を用意する (多数の意見あり)
- ・公約など、候補者のことがもっと知れるように、SNSを活用して宣伝する。(多数の意見あり)
- ・出前授業などで、議員さんとの意見交換の場を増やす
- ・投票の義務化、期日前投票の期間拡大
- ・お年寄り向けの公約だけでなく若い人向けの公約も考える、移動投票を可能にする、投票日は休日にする。

(ほか多数)

問：出前講座を受けて、市議会議員にもっと聞いてみたいことが出てきましたか。



(理由)

- ・他の市町の議員さんと交流したりして、そのまちで行っていることで良いと思うことは取り入れるんですか？
- ・スポーツ施設の充実のための取り組みはどのようなことがありますか？
- ・私達がグループで発表した、スタバやスポッチャなどの願望は話し合ってくれるのか。

問：出前授業全体の感想や網走のまちづくりについての意見があれば教えてください。

- ・市議会に対するイメージが結構変わった。
- ・冬でも高校生が遊べるような施設がほしい
- ・汽車の便を13時や14時の便を増やしてほしい。
- ・石北線の19時くらいの汽車がほしいと思いました
- ・あまり投票に行く人があまりいないことがわかりました。
- ・学生が遊べる場所やバスやJRなどの公共交通機関を良くしてほしいです
- ・今日は網走市議会の皆様が南ヶ丘高校に来て実際にグループ活動等で授業をしていただきありがとうございました。
- ・網走のまちづくりについての意見は、バスの本数を夜遅い時間に限らず、朝昼も増やしていただけると幸いです。本日はありがとうございました！
- ・桂台駅で汽車を待つときに、より多くの方が雨風を防げるようにしていただきたいです。今はほとんどの人が歩道に立った状態で汽車を待っていて、汽車の本数も少ないので長時間待つことが多く困っています。ベンチもありますが、天候が悪いと座れません。わがままな要望ではありますが検討していただけたら嬉しいです。
- ・普段関わることがあまり無い議員の人と関わったことで、街のためにどんなことを考えているのか、どのような人たちなのか、どうすれば網走がより良くなるかなど、いろいろなことを知ることができました。